政策コメンテーター報告（第２回、意見照会期間：2015年２月27日～３月12日） 武輪　俊彦：武輪水産株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	2015年３月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。	悪くなっている	昨秋の三陸産原料魚価格の上昇のため、製品販売価格を据え置いたところでは利益率が圧迫されている。また、値上げに踏み切ったところでは売上が減少している。また輸入原料魚についても円安による価格上昇で、製品の利益率に大きな影響が出ている。
経済の好循環実現に向けた取組について			
２－１	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。	－	水産加工業ではまだ労働集約的作業が多く、その多くの労働力が低賃金の労働者によって支えられている。その理由の一つとして海外の労働力との競争関係がある。このことを解決して全体的な賃金上昇を図るためには、作業の機械化・ロボット化が必要となる。そのための公的研究機関の民間への支援が求められる。機械化により省力化を実現することは、雇用拡大と逆ではあるが、人手不足が指摘される中、企業収益を改善し、労働者が求める作業環境と労働条件を実現する方策となる。
２－２	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	－	